



令和7年度 夏期企画展
奈文研×サブスエPJ タイアップ企画

須恵器をつくる

古代と現代をつなぐ陶の工の物語

令和7年 7/12(土) - 8/31(日)

平城宮跡歴史公園 平城宮いざない館 企画展示室

観覧無料 開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休 館 日 7月14日(月)

イベントも開催!!
詳細は裏面を
チェック!!

【主催】平城宮跡歴史公園、独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
【共催】公益財団法人瀬戸内市歴史まちづくり財団、寒風陶芸会館
【後援】瀬戸内市、奈良市、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社
【協力】総社市、サブスエPJ
写真：寒風窯出土品

須 須恵器は高い温度で焼かれた硬質のやきものです。奈良時代には、さまざまな地域で作られた須恵器が税金や交易品として平城京に運ばれました。備前国（現在の岡山県東部）も、須恵器を納める国とされていました。

岡山県瀬戸内市牛窓町にある国指定史跡寒風古窯跡群は、7世紀の飛鳥時代を中心に約100年近くにわたって、須恵器を作っていた生産遺跡です。寒風窯で焼かれた古代須恵器の造形や作陶技術は、その後の備前焼の土台になるとともに、現代の陶磁器作家も魅了し続けています。本展では、古代の備前と奈良、今を生きる人と人とを結ぶ寒風の須恵器をとおして、「陶の工」の世界をご堪能いただけますと幸いです。

体験ワークショップ

Workshop 01
須恵器文様の豆皿をつくろう!

7月26日(土) 10:00~11:00
会場：平城宮跡歴史公園いざない館 企画展示室
※入館は16:30まで

Workshop 02
陶硯〈円面硯〉をつくろう!

7月27日(日) 10:00~11:00
会場：平城宮跡歴史公園いざない館 企画展示室
※入館は16:30まで

奈文研×サブスエPJ

Collaboration 01
「奈文研×サブスエPJ」による制作実演

8月23日(土) 10:30~11:00
会場：平城宮跡歴史公園いざない館 企画展示室
※入館は16:30まで

Collaboration 02
「奈文研×サブスエPJ」による制作実演

8月24日(日) 10:30~11:00
会場：平城宮跡歴史公園いざない館 企画展示室
※入館は16:30まで

サブスエPJとは?

岡山県瀬戸内市にある寒風窯の古代須恵器から技術を学び、現代ならではのデジタル作品を生み出すと発表したプロジェクト。出土品の観察や研究家との議論を重ね、新たな須恵器のブランドづくりに取り組んでいます。
【プロジェクトメンバー】 津渡 幸(備前焼)／松川 広己(備前焼)／三浦 雅人(備前焼)／三浦 雅二(備前焼)

大和郡大市 平城宮跡歴史公園 277
近鉄奈良線 平城宮跡駅 徒歩5分
奈良交通バス 平城宮跡バス停 徒歩5分
大和郡大市 平城宮跡歴史公園 277
近鉄奈良線 平城宮跡駅 徒歩5分
奈良交通バス 平城宮跡バス停 徒歩5分

アクセス

■JR奈良線 平城宮跡駅より徒歩5分
■奈良交通バス 平城宮跡バス停より徒歩5分
■奈良交通バス 平城宮跡バス停より徒歩5分
■奈良交通バス 平城宮跡バス停より徒歩5分

お問い合わせ

奈良文化財研究所 企画展示課 0742-231-231
奈良文化財研究所 企画展示課 0742-231-231
奈良文化財研究所 企画展示課 0742-231-231

<開催概要>

奈良時代には、さまざまな地域で作られた須恵器が税金や交易品として平城京に運ばれました。備前国（現在の岡山県東部）も、須恵器を納める国とされていました。

岡山県瀬戸内市牛窓町にある国指定史跡寒風古窯跡群は、7世紀の飛鳥時代を中心に約100年近くにわたって須恵器をつくっていた生産遺跡です。出土した須恵器のなかには、屋根にのせる鴟尾や硯などもあり、これらの製品は、瀬戸内海の水運を使って飛鳥、奈良のみやこに運ばれました。

寒風窯で焼かれた古代の須恵器の造形や作陶技術は、その後の備前焼の土台になるとともに、現代の陶芸作家も魅了し続けています。本展では、古代の備前と奈良、今を生きる人と人とを結ぶ寒風の須恵器をとおして、奥深い「陶の工（すえのたくみ）」の世界をご堪能いただけますと幸いです。

<関連イベント>

★体験ワークショップ（会場：平城宮いざない館 多目的室）

「須恵器文様の豆皿をつくろう！」

7月26日(土) 10:00、13:30（各回60分程度）

「陶硯〈円面硯〉をつくってみよう！」

7月27日(日) 10:00（120分程度）

★寒風陶芸作家&奈文研研究員によるイベント

- ・制作実演と解説 8月23日(土) 13:30 (会場:平城宮いざない館 多目的室)
- ・ギャラリートーク 8月24日(日) 10:00 (会場:平城宮いざない館 企画展示室)

※申込方法などの詳細は平城宮跡歴史公園 HP で公開予定。ギャラリートークは申込不要。

<見どころ>

みやこの須恵器と寒風窯の須恵器

飛鳥時代以降、律令制度が整うと、さまざまな地域でつくられた須恵器がみやこに運ばれました。寒風窯で出土した須恵器のなかには、飛鳥・藤原地域の遺跡から出土したものとそっくりさんが！並べてみてみましょう！



現代の陶芸作家が挑む須恵器づくり！

発掘調査で出土した須恵器のつくり方をめぐって、考古学者と陶芸作家が議論をたたかわせる様子を展示します。現代の陶芸作家の作品と、発掘調査の出土品を並べてみてみましょう！



令和7年度夏期企画展

須恵器をつくる

—古代と現代をつなぐ陶の工の物語—

会 期：令和7(2025)年7月12日(土)～8月31日(日)

会 場：平城宮いざない館 企画展示室

開館時間：9:00～17:00 (入館は 16:30 まで)

休 館 日：7月14日(月)

入 館 料：無料

主 催：平城宮跡管理センター、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所

共 催：公益財団法人瀬戸内市歴史まちづくり財団寒風陶芸会館

<本リリースに関するお問い合わせ>

展示内容、展示品に関すること

企画調整部展示公開活用研究室（担当：神野）

TEL：0742-30-6852 FAX：0742-31-9045 E-mail：tenjikikaku_nabunken@nich.go.jp

取材に関すること

総務課広報企画係（担当：白川、西村）

TEL：0742-30-6753 FAX：0742-30-6750 E-mail：koho_nabunken@nich.go.jp

※取材のお申し込みは、奈文研 HP より取材申込書を取得・ご記入の上、E-mail をお送りください。